

鳥のさえずりが聞こえ、春の訪れを感じる季節となりました。今月は療養棟から利用者様の日々のご様子をお伝えします。



## 療養棟より



少しずつ暖かい日が増え、中庭の梅の花が可憐に咲き始めました。利用者様も窓の外をご覧になりながら「梅が咲いたね」「春が近づいてきたね」と季節の移ろいを感じておられます。現在は外出を控えていただいておりますが、外の景色を通して春の気配を楽しんでいただいております。

春といえば桜の季節。インフルエンザの流行が落ち着き、皆さまと一緒に外でお花見ができる日が訪れることを職員一同心待ちにしております。



3月にはひな祭りに合わせて、利用者様と一緒にひな祭りの飾り作りを行いました。娘さんがおられる利用者様は「家でも雛人形を飾ったのよ」と思い出を語りながら、丁寧に飾りを作られていました。和やかな会話とともに、季節の行事を楽しむひとときとなりました。



おやつを食べ終えた 16 時頃には、食堂で利用者様が思い思いの時間を過ごされています。ぬりえに集中される方、パズルに挑戦される方、オセロで真剣勝負を楽しむ方、そしてテレビで大相撲観戦をする方など、それぞれが自分らしい時間をゆったりと楽しんでおられます。

同じ空間にいながらも、好きなことを自由を選んで過ごせるこの時間は、利用者様にとって心がほぐれる大切なひとときです。



# 月刊さくら

2026年3月  
発行  
京都綾部  
さくらホーム  
TEL  
0773-40-1066  
FAX  
0773-40-1075

### 利用者様・家族様アンケート ご協力の御礼

このたびは、多くの皆さまにアンケートへのご協力を賜り、誠にありがとうございました。皆さまからいただいた貴重なご意見・ご要望は、今後のサービス向上に活かしてまいります。引き続き、皆さまのお声を大切にしながら、より良いサービスの実現を目指してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

京都綾部さくらホーム サービス向上委員会一同